

# 陳 情 文 書 表

(教育委員会)

(令和7年10月1日回付)

受 理 番 号	4 4 5 5	受理年月日	令和7年9月24日
件 名	市立中学校の通学費の無償化等		
要 旨	<p>京都市は、京都市立桃山中学校に公共交通機関で通学する生徒の定期代を全額保護者負担にしている。現在、京阪桃山南口駅から丹波橋駅までの京阪電車の定期代は高校生や大学生と同じ大人通学とみなされ、定期券代は、3か月で5,990円、6か月では11,340円になる（2025年9月現在）。京阪六地蔵駅や木幡駅から乗車する生徒はこれ以上の定期代が必要となる。</p> <p>なぜ、通学に電車を使うことを余儀なくされているかという、中学校までは桃山南口駅から3キロメートル余りある。しかも往路は上り坂が多く、復路は下り坂である。桃山東小学校区の生徒は徒歩も多く、御陵参道を通り桃山高校の前を通ったり、桃山町紅雪から藤城小学校の前を通ったり、六地蔵ゴルフの前の車の多い道を通ったり、あるいは北堀公園の中を抜けて中学校へ行く生徒もたくさんいる。</p> <p>このように、生徒は通学に前述のコースを利用し、往復1時間以上掛けて通学していることになる。京阪電車を利用している生徒は、乗車時間12分から13分、丹波橋駅から中学校まで10分から15分、自宅から最寄り駅までの時間を合わせるとほとんどの生徒が往復1時間を超える。どちらの通学方法でもかなりの時間が掛かると言える。それでも電車を利用する生徒は多く、保護者は定期代に代えられない安心安全を望んでいる。</p> <p>しかし、今の社会の生活意識から鑑みて、この負担は決して安くはない。桃山中学校は2年前に新制服にしている。また、部活のユニフォームや靴等新学期は出費が増え、その上に定期代が掛かる。このように、同じ京都市立中学校に通う他の学校との格差が大きくなっていいのだろうか。</p> <p>私たちの心配はお金のことだけではない。生徒が徒歩で通う道は、人通りが少なく、場所によっては車が多い危険な道もある。秋から春にかけて、山手は暮れるのが早く、変質者等の情報もある。生徒を巻き込む事件や事故が起こってからでは遅いと思う。最近の事件の中で、夜間の犯行やストーカー等の犯罪が後を絶たない。生徒が安全に登下校できるように警察のパトロールを要請する。私たちの校区は桃山中学校になる。それが変わらない限り、私たちは訴え続けていく。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 京都市立中学校に通う生徒の通学費の無償化に取り組むこと。</li> <li>2 遠距離通学費の補助の対象を拡大すること。</li> <li>3 通学路の安全のための警察によるパトロールの強化をすること。</li> </ol>		
陳 情 者			
回付委員会	文教はぐくみ委員会		